



感じのいい人に

令和7年が始まりました。本年もよろしくお願いします。

ずいぶん昔の話ですが、学園ドラマの先生が卒業を迎えた子どもたちに、「感じのいい人になってほしい」と伝えていました。私も子ども目線でその先生の話聞いていたことを覚えています。それから長い年月がたって、自分が教師として子どもたちと接するようになり、ドラマの先生が語った「感じのいい人」をあらためて意識するようになりました。相手を気遣った振る舞いができること、気持ちのよいあいさつができること、笑顔で受け答えができること、礼儀正しいことなど、人と人が関わるうえで大切なことをみんなが当たり前にできたらいいなと思っています。

お正月明けのある日、地域の方から電話がありました。その方は、「横断歩道の手前に小学生がいたので車を止めたら、その子たちは渡るときにペコっとお辞儀をして『ありがとうございます。』と言ってくれました。そのことがとてもうれしくて連絡をしました。」と話してくれました。人の気持ちを温かくしてくれる言葉や行い、その方にとって出会った子どもたちは「感じのいい人」だったんだろうなと思うとともに、自分もうれしい気持ちになりました。もしかしたら子どもたちは「先生、そんなことは当たり前ですよ。」というかもしれません。これから子どもたちの心を育んでいきたいと思います。

命を守るために(避難訓練)

先日、宮崎県で大きな地震が起こりました。南海トラフ地震臨時情報も発表され、地震への備えの必要性をあらためて感じました。

1月16日(木)に「大きな地震の後、火災が発生した」という設定で避難訓練を実施しました。今年度4回目の訓練です。事前の告知なしの訓練でしたが、子どもたちは自ら身を守る行動をとるなど、真剣に訓練に参加してい



ました。

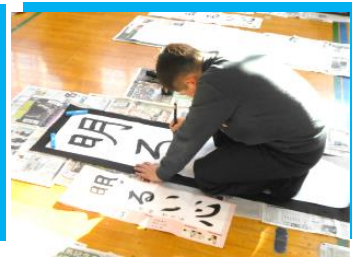
大きな地震が起きたときには、まずは身を守る行動をとります(姿勢を低く、頭を守る、動かない)。その際、物が落ちてこないか、倒れてこないか、動いてこないかを確認する必要があります。東日本大震災の際、体育館ステージにおかれた大型テレビが、ゴロゴロと動いていたのを思い出します。また、津波の心配があるかないかで避難する場所が変わります。そのため、慌てずに情報を聞く必要があります。

訓練の振り返りで、これら自分の命を守るために必要なことをあらためて子どもたちに伝えました。ご家庭でも地震に備えた確認(防災バックや家庭内の危険な所など)や約束(はぐれた際の集合場所)を子どもたちと話してみてください。小田原市の小学校は、震度5弱以上の地震があった場合は、津波警報解除後に引き取りとなるので、9月に配布した「地震・津波等災害時の対応」をご確認ください。



一筆に思いを込めて(書き初め大会)

1月9日、10日に書き初め会を行いました。3年生以上は毛筆で書きました。大きな紙に思いを込めて一筆一筆じっくりと書いていました。低学年は硬筆です。1年生は「ふじ山」、2年生は「大きなゆめ」、3年生は「友だち」、4年生は「明るい心」、5年生は「新しい風」、6年生は「将来の夢」を書きました。素敵な作品ができあがりました。



ゲストティーチャーから学ぶ(全校道徳)

12月10日(火)、2回目の全校道徳がありました。前回に引き続き、多様性や認め合いをテーマにしました。ゲストティーチャーとして来校した県視覚障がい者福祉協会、県聴覚障がい者協会の方から生活の様子や手話のことなどを話していただきました。子どもたちはじっと聞いて



ていました。また、「わたしも家に帰って手話をやってみようと思います。」とみんなの前でも感想を堂々と述べる子がいました。ゲストティーチャーの

二人の方は、「子どもたちがしっかりと聞いてくれてうれしかった。」と伝えてくれました。

担当職員は、「6月の全校道徳で絵本から想像させたが、ハンディキャップがある人を理解するのは難しかった。だから、実際に会って話を聞くことで、工夫をしながら一生懸命に生きていること、そして、決してかわいそうな人でも不幸な人でもないということを子どもたちにわかってほしかった。」と、思いを語りました。



わたしたちはいろいろな人とつながり、生活しています。一人一人ちがったよさがあり、苦手なこともそれぞれです。そうした自分との違いで壁を作るのではなく、話をし、相手を理解することでいい関係が築けるのだと思います。「目の見えない人に道で会ったら、大丈夫ですかではなく、何かお手伝いしましょうか、と声をかけてあげてください。」というお話がありました。私も、優しい声をかけられる人になりたいと思いました。

けがの予防(いきいき健康フェス)

11月の学校保健委員会では、けがの防止についてみんなで考えました。その一環として、12月16日(月)昼休みにいきいきけんこうフェスを開催しました。これは、保健委員会の児童が主体的に計画し進めてきました。フェスでは、子ども口コモ(運動器のはたらきの低下)予防の視点から、体のやわらかさやバランスをチェックし、そのトレーニングになる運動を行いました。やわらかい体づくりのために、しゃがんだままかかとをつけてダッシュしたり、2人組になり体をそらせたり曲げたりしてボールを渡した

りしました。やってみると難しいもので、片足立ちで前後左右に置いたペットボトルに足でタッチすることができませんでした。担当職員は、「ゲーム感覚で楽しみながらできる動きなので、休み時間や家庭でもやってほしい。そして、けが予防を意識してほしい。」と語りました。



環境問題を考え行動する

休み時間に4年生の児童が校長室を訪ねてきました。話を聞くと、総合的な学習の時間に海に放置されるプラスチックごみについて学習していること、自分たちでできることからプラスチックごみを減らしていきたいと思っていること、その取り組みとして、給食の牛乳をストローではなくコップに入れて飲もうと考えている、ということでした。環境問題について理解し、自分でできることに取り組もうという思いに感心しました。今後も何をすべきか考えて活動を広げ、学びを深めていってほしいなと思います。



まち探検発表会

2年生は、自分たちが生活する町について学習しています。12月20日(金)、地域のお店や施設について、見学したり話を聞いたりしたことを発表しました。「魚籃観音」「露木木工所」「魚よし」「あさみどり」の4か所です。見学に行ったお店の方も駆けつけてくれました。子どもたちは、少し緊張しながらも一生懸命に発表しました。「スズメバチが入ったはちみつやミカンのはちみつがあります。」と見たり聞いたりしたことをまとめた資料を基に発表しました。見学に来てくれたお店の方からもお褒めの言葉をいただきました。「発表会楽しかった」という言葉から、子どもたちにとって充実した時間だったことが伝わりました。

